

山岳遭難発生状況

(令和7年1月1日～令和7年5月25日)
地域部 山岳安全対策課

1 山岳遭難発生状況（暫定値）（令和6年数値は1月1日からの同期間数値）

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
令和7年	96	19	8	45	41	113
令和6年	94	17	0	36	55	108
前年同期比	2	2	8	9	-14	5

2 山域別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	
北ア	槍穂高	11	11.5%	4	0	4	5	13
	後立山	19	19.8%	4	1	9	12	26
	その他	15	15.6%	0	0	12	6	18
計	45	46.9%	8	1	25	23	57	
中央アルプス	9	9.4%	3	1	3	3	10	
南アルプス	2	2.1%	0	1	1	0	2	
八ヶ岳連峰	13	13.5%	3	0	8	3	14	
その他の山岳	27	28.1%	5	5	8	12	30	
計	96		19	8	45	41	113	

3 態様別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	33	34.4%	12	0	23	0	35
転倒	18	18.8%	1	0	17	0	18
病気	5	5.2%	2	0	0	3	5
道迷い	17	17.7%	0	0	0	25	25
落石	1	1.0%	0	0	1	0	1
雪崩	2	2.1%	1	0	1	1	3
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	1	1.0%	0	0	0	2	2
不明・他	19	19.8%	3	8	3	10	24
計	96		19	8	45	41	113

4 男女別・年齢別比率

区分	男性					(人) 比率	女性					(人) 比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
19歳以下	0	2	0	3	5		0	0	0	0	0	5		
20代	0	0	1	9	10	26	0	0	1	4	5	8	34	
30代	2	2	3	4	11	29.2%	0	0	1	2	3	14	30.1%	
40代	4	1	7	2	14	38	1	0	2	1	4	18	49	
50代	5	1	9	9	24	42.7%	0	0	7	0	7	31	43.4%	
60代	4	1	7	6	18	25	0	0	5	0	5	23	30	
70以上	3	1	2	1	7	28.1%	0	0	0	0	0	7	26.5%	
計	18	8	29	34	89		1	0	16	7	24	113		
比率	78.8%						21.2%							

(※ 比率の計は、小数点の調整上、一致しない場合あり。)

先週の発生 (5/19~5/25)

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
5月19日	北アルプス 焼岳	男	56	負傷	転倒	2人パーティで焼岳から下山中、転倒、負傷
5月19日	雨飾山	男	52	行方不明	不明	単独で雨飾山に入山したまま、行方不明
5月20日	北アルプス 槍ヶ岳	男	51	負傷	滑落	2人パーティで槍ヶ岳から下山中、滑落、負傷
5月23日	北アルプス 蝶ヶ岳	女	57	負傷	滑落	単独で蝶ヶ岳に向け登山中、滑落、負傷
5月24日	ハヶ岳連峰 硫黄岳	男	59	負傷	転倒	3人パーティで赤岳から硫黄岳に向け縦走中、転倒、負傷
5月25日	志賀高原	男	77	行方不明	不明	3人パーティで山菜採りのため志賀高原に入山後、はぐれてしまい、行方不明
		男	不明	行方不明	不明	

山岳安全対策課からのアドバイス

先週県内では、2件の行方不明遭難を含む、6件の山岳遭難が発生しました。

北アルプスなど標高の高い山域では、日陰となる樹林帯や沢筋を中心に残雪が残っています。このような場所では、滑落の危険性があるほか、残雪によりルートが不明瞭な登山道もあるため、地図などで確認をしましょう。また、事前に最新の現地情報を確認するとともに、アイゼンやピッケルを携行し、安全に正しく使いこなしましょう。

万が一、トラブルに遭遇し救助要請をしても、すぐに救助隊が来るとは限りません。ビバーク装備の携行もお願いします。

先週は、山菜採り遭難も発生しています。山菜採り遭難は、山菜を採ることに夢中になる余り、急斜面に入り込んだり、現在地が分からなくなり遭難しています。「山菜を採りに行くだけだから。」という安易な気持ちで入山するのではなく、必要な装備を携行するとともに単独入山は控え、複数人で入山しても、互いの声が届く範囲で行動しましょう。